

報告事項ナ

鳥取発！弥生文化シンポジウム及びたたらフォーラムの開催結果について

2月18日(土)に開催された「鳥取発！弥生文化シンポジウム」及び3月4日(日)に開催された「たたらフォーラム」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年3月17日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

鳥取発！弥生文化シンポジウムの開催について

文 化 財 課

全国に誇る弥生時代の遺跡である妻木晩田遺跡及び青谷上寺地遺跡に関連するシンポジウムを、県外で開催することで情報発信する事業として、とっとり倭人伝「国邑（こくゆう）と市羅（してき）の実像」をテーマに、福岡県小郡市で弥生文化シンポジウムを開催しました。

福岡県では近年、奴国（なこく）や伊都国（いとかく）といった弥生時代の国々の構造が明らかになっており、一方鳥取県では、全国最大級の弥生時代の集落跡である妻木晩田遺跡や、保存状態の良い多種多様な出土品が発見されている青谷上寺地遺跡があります。

このたびのシンポジウムでは、両県の遺跡から見えてくる弥生のクニの様子や、交易の実態、さらに九州と山陰の地域間交流についてのパネリストらによる発掘調査の成果や、関連する遺跡・遺物などを紹介しながら、約 400 名の来場者に「とっとり弥生の王国」（妻木晩田遺跡及び青谷上寺地遺跡）の魅力を広く情報発信しました。

- 1 開催日時 平成24年2月18日（土）午後1時～5時
- 2 会 場 福岡県小郡市文化会館大ホール
- 3 来 場 者 400名
- 4 主 催 鳥取県教育委員会・九州歴史資料館
- 5 共 催 小郡市教育委員会

挨拶	13:00～	鳥取県教育委員会次長
記念講演	13:10～ 14:30	「弥生時代の祭りの起源を探る」 <small>かなせき ひろし</small> 金関 恕 (大阪府立弥生博物館館長)
パネルディスカッション	14:50～ 16:50	「弥生の国邑（こくゆう）、市羅（してき）の実像」 コーディネーター 西谷 正（九州歴史資料館長） パネリスト福岡県：岡部 裕俊（伊都国歴史博物館） 井上 義也（奴国の丘歴史資料館） 常松 幹雄（福岡市教育委員会） 鳥取県：河合 章行（鳥取県埋蔵文化財センター） 小口 英一郎（むきばんだ史跡公園）



シンポジウム会場の様子



パネルディスカッションの様子

たたらフォーラムの開催について

文 化 財 課

たたら魅力発信事業実行委員会と鳥取県教育委員会が主催する事業として、「奥日野の地域に眠るたたらに光を」をテーマに、たたらフォーラムを開催しました。アニメを使用し「たたら」本来の価値をわかりやすく解説すると共に、専門家による講演会や県内外の研究者等によるパネルディスカッション等を行いました。約200名の来場者は、奥日野がたたら製鉄で栄えた時代の歴史的価値や魅力について再認識し、この地域資源の活用について理解を深めました。

- 1 開催日時 平成24年3月4日(日)午後1時～午後4時40分
- 2 会 場 日野町文化センター(鳥取県日野郡日野町根雨129-1)
- 3 内 容

【プロローグ】DVD(アニメ)『名刀になった鉄之進』

【基調講演】『たたら製鉄って何?』講師(有)地域未来 代表取締役 すぎはらみきを

【記念講演】テーマ『奥日野のたたら製鉄と近代化』

講 師 広島県立大学名誉教授 野 原 建 一

【展示パネル解説】 鳥根県教育庁古代文化センター専門研究員 角 田 徳 幸

【パネルディスカッション】テーマ 『奥日野のたたらに光をあてる』

コーディネーター 皆生「松月」若女将 福元 恵美子(観光資源としてたたらに注目)

パネリスト 広島県立大学名誉教授 野原 建一(たたら研究の第一人者)

鳥根県教育庁古代文化センター専門研究員 角田 徳幸(都合山たたらの調査担当者)

たたら研究会会員・伯耆国たたら顕彰会顧問 影山 猛(近藤家におけるたたら操業を研究)

都合山たたら保存会会長・里山元気塾塾長 小谷 博徳(都合山たたらの保存に尽力)

【フィナーレ】日南神楽、日南神楽 神光社



会場の様子



パネリストによる展示解説



パネルディスカッションの様子



日南神楽(オロチ)の様子